

幸区のろ過装置メーカー社員

水の再利用テーマ 宮内中出張授業



ろ材をきれいにする逆流の仕組みをろ過装置で披露する講師のショウエイ社員＝中原区で

川崎市中原区の市立宮内中学校で二日、水の再利用をテーマにしたろ過装置メーカー「ショウエイ」（幸区）社員による出張授業があり、一・三年生の希望者約三十人が参加した。

砂と砂利を入れた漏斗で濁った水をろ過し、ろ過の仕組みを学んだ生徒たち。ミニチュアろ過装置で、水を逆流させてろ材を洗浄する様子も見学した。

多摩川の水質問題について学びたくて授業に参加したという三年生の板橋拓也さん（も）は「ろ材をきれいにする方法が、水を逆流させることなのが一番意外で驚いた」と話した。

出張授業は、地元企業の技術を伝えることで子どもたちに科学に興味を持ってもらい、企業も社員のプレゼンテーション能力を育む狙いで、市の仲介で開かれている。

（平木友見子）